



高知県立幡多けんみん病院

広報誌

# はた家

はたの家族の健康をはぐくむ《はたけ》でありたい

vol.6 2021.8

特集

新採用職員紹介

口腔ケアについて  
【歯科衛生士】

# 特集 新任医師の紹介



今年度当院に赴任してくれた医師の皆さんです。  
 医師16名、研修医5名を迎えました。今回は、新しく赴任された医師、研修医を紹介します。  
 その他の医師はNEWS LETTERでも紹介しています。

## 松下憲司（小児科）

**診療科**…小児科  
**役職**…小児新児部長  
**所属学会**…日本新生児成育医学会、日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会、日本子ども虐待防止学会、日本子ども虐待医学会、日本小児神経学会  
**資格**…日本小児科学会認定専門医、周産期専門医（新生児）、臨床遺伝専門医、新生児蘇生法専門コースインストラクター



令和3年4月から幡多けんみん病院小児科で勤務している松下憲司と申します。鹿児島出身で大学時代は柔道部でした。こう書くと、男らしく豪快な九州男児なのか？と思われるかもしれませんが、武道系とは程遠い体型、雰囲気醸し出しております。

私は高知医科大学（現：高知大学医学部）を卒業し、そのまま母校の小児科に入局しました。高知医科大学附属病院、高知県立安芸病院で小児科の研修を行い、愛媛県立愛媛中央病院の周産期医療センター、千葉県の国保旭中央病院の周産期医療センターで新生児医療を中心に研鑽を積みました。その後、四万十町の大西病院で3年間一般小児診療を行いました。産婦人科から小児科に新生児医療が引き継がれたことを機に大学へ戻りました。当初1年間の予定でし

たが、様々な巡り合わせで結局21年間、高知大学医学部附属病院周産母子センターで新生児医療を行ってきました。非常に優秀な後輩達も育ち、後を任せることが可能となったため、この度、新生児医療一辺倒の生活から卒業し、幡多けんみん病院へ着任いたしました。

私は、主に早産・低出生体重児の新生児集中医療、成長・発達のフォローアップを行ってきましたが、ここ10年ぐらいは大学病院の特性もあり、精神疾患を持つ母親や家庭背景に問題を抱えた母親から生まれた児やご家族を、出生前からチームで支援する取り組みを行ってきました。また、虐待防止に取り組みするための職種からなるファミリーサポートチームの立ち上げにも関わってきました。さらに第2の専門領域として、臨床遺伝専門医を取得し、遺伝カウンセリングにも関わってきました（ただし、こちらはまだまだ勉強中です）。

このように約20年間、一般小児医療から遠ざかっておりまして、一般小児医療に関する知識や経験が不足しており、皆様にご迷惑をおかけするのではなにかと危惧しております。至らない点がある場合は、遠慮せずにご指導いただければと思っております。幡多けんみん病院小児科は、前田明彦先生をはじめ非常に優秀なスタッフが揃っており、研修医に戻った気持ちで皆様に指導を請いながら毎日診療を行っております。まだまだ実力不足ですが、幡多地域の小児医療全般に貢献できるように全力でがんばりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 葛西雄介（整形外科）

**診療科**…整形外科  
**役職**…医長  
**所属学会**…日本整形外科学会、日本脊椎病学会、日本骨折治療学会、日本リハビリテーション医学会など  
**資格**…整形外科専門医、認定脊椎椎間病医、認定リウマチ医、認定運動器リハビリテーション医



この4月より、幡多けんみん病院で勤務しています整形外科の葛西と申します。けんみん病院には7年前に一度赴任し、今回で2回目になります。当時は1年間のみの勤務で、その後の6年は大病院で勤務し、専門医も取り、大病院ならではの症例も経験させていただきました。7年前はまだまだキャリアも浅く、失敗したこと、うまく出来なかったことが思い出されます。しかしそれ以上に幡多での楽しい生活もよみがえり、今回楽しみに戻ってきました。

さて、私は整形外科医として働いています。皆さんの整形外科の印象といえは、やはり骨折でしょうか？骨折はもちろんです。膝や腰などの変形や痛み、他にも筋や神経も扱います。これらをまとめて運動器と呼びますが、ちよっと難しいですか？でも食事を口に運ぶ、トイレに行くそんな当たり前の身体の動き

は、関節や神経や筋がうまく働いてくれないとできません。われわれ整形外科医は、医者の中でも大工に例えられるのですが、たしかに生活の基盤となる身体を造るからそう呼ばれるのでしよう（実際は手術中にハンマーやペンチやノコギリを使うからですが、いま整形外科は5人のメンバーで、外来、手術、病棟を分担しています。なかには見習いから棟梁までいますが、救急もできる限り対応して頑張っています。その中でも私は脊椎外科をメインにしています。脊椎つまり背骨です。背骨の中には脳につながる神経があるので一度背骨が故障すると、痛みや見た目の変形だけでなく、しびれや筋力低下、歩行障害なども引き起こします。思い当たる方はぜひご相談ください。

けんみん病院にきて3か月がたとうとしています。赴任して初めての朝、うるさいほどの鳥の声で驚き、気が付けば駐車場にアジサイがみられる季節になりました。こんなにも自然に囲まれた病院も珍しいと思います。それだけでなく、このけんみん病院の職員のプロ意識の高さも珍しいのです。看護師も薬剤師も理学療法士も栄養士も事務職員もその他多くの職員がそれぞれの分野で、自主的に動き回る姿が見られますので、来院された際にはぜひ眺めてみてください。家を建てるのが大工一人ではできないように、それぞれの職員が皆さんの健康な身体を組み立てているのをわかっていただけたらと思います。

これからも素敵な身体を造りあげられるよう頑張っていきますので、ひきつづき幡多けんみん病院と整形外科をよろしく願いました。

## 谷岡信寿（外科）

**診療科**…外科  
**役職**…副医長  
**所属学会**…日本内視鏡外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本消化器病学会、日本胃癌学会、日本食道学会、人工臓器学会、日本肝胆膵外科学会、日本小児外科学会  
**資格**…外科専門医



2014年に高知大学医学部を卒業し、近森病院、高知医療センター、高知大学での勤務を経て今年4月から幡多けんみん病院の外科に赴任しました。専門は消化器外科領域です。

私が消化器外科の道を選んだのは、幼い頃からよく腹痛に悩まされた事と、研修医時代に腹痛で来られる患者さんが苦手で克服したいと思ったからです。腹痛は日常でよくみられる症状の一つですが、腹部には胃、小腸、大腸、肝臓、脾臓、膵臓などたくさん臓器があるため原因を特定することが比較的難しく、『お腹の中はブラックボックス』と言われるんです。痛みに加えて『どつて起きているのか分からない』『不安、恐怖が付きまとい、患者さ

んにも医師にとっても厄介な症状なのです。消化器外科の利点は、診断から治療決定（手術）まで一貫して診る事ができるという点です。手術ができるからこそ、診断にもその経験を反映させる事ができます。

私が当院に赴任して驚いたことは、腹腔鏡手術による完遂率が非常に高い点です。腹腔鏡手術は従来の開腹手術と比較して体壁破壊が少なく、疼痛軽減や入院期間の短縮が期待でき、特に生活機能を落とさたくない高齢の患者さんにとって非常に有利です。

地方においてこのような先進的技術を提供できることは素晴らしい事ですし、常に新たな技術を取り入れ、手技を研鑽される上級医の先生の元で働けることを光栄に思います。

新型コロナウイルスが世間を一変させてから約1年半が経過し、ようやくワクチン接種が開始され希望の光が見え始めました。宿毛市は私の故郷でもあり、診療を通して少しでも地元に貢献したいと考えております。丁寧な診察と説明を心がけておりますので、お困りのことがあればすぐに相談いただければと思います。何卒よろしく願いました。

# 特集 研修医の紹介



## 研修医1年目 小島瑞貴

初めまして！高知大学から参りました、研修医1年目の小島瑞貴と申します。2年間という短い間ですが、精一杯働かせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

研修が始まり早3ヶ月が経過しておりますが、この3ヶ月間、カルテの書き方、採血の手技、急変患者さんへの対応……大学で6年間学んできた、「座学としての医学」では到底太刀打ち出来ない臨床現場に、圧倒される毎日でした。そんな私に、日々指導や学びを下さる上級医の先生方やコメディカルの皆様、そしてなにより患者様方には心から感謝を申し上げます。

幡多けんみん病院は、急性期だけでなく地域のかかりつけ病院として、そして昨今は新型コロナウイルスへの対応病院として、幡多地域における医療の中核を担っております。このような素晴らしい病院で研修させていただけることを誇りに思い、かつ自分もいち早く幡多地域の医療を支える一員となれるよう、日々精進していく所存です。頼りない私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 研修医1年目 吉本龍太郎

幡多けんみん病院で働きはじめて、はやくも3ヶ月が立ちました。幡多けんみん病院は高知県西部、幡多地域の医療を支える役割を持つ病院で、さまざまな疾患の患者さんが来られるのが特徴です。近隣には大きな病院がなく、働かされている先生方やコメディカルの方々は、「自分たちが診るんだ」という強い意思を持っておられます。手技の経験や知識の習得はもちろんですが、そのような理念に強く共感したことも、幡多けんみん病院での研修を希望させていただいた理由です。

まだまだ慣れないことも多いですが、幡多けんみんの先生方やコメディカルの方々には沢山のことをご指導いただき、日々自らの成長を実感しながら充実した研修ができていると思います。患者さんから学ばせていただくことも多く、「人を診る」ことの重要性を痛感する毎日です。

幡多けんみん病院での2年間の研修の間に、なるべく多くのことを経験できるよう、そして幡多地域に貢献できる医師になれるよう精一杯頑張っております。

## 研修医1年目 小路梨華

医者になって3ヶ月が経ちました。6年間様々な知識を詰め込み、国試をくぐり抜けてようやく実践で活かせる時が来たと意気込んで働き始めましたが、その思いは開始一週間で崩れ去りました。

病棟では入院患者さんの薬だけでなく、リハビリや食事形態まで考える必要があることを知りました。救急外来では簡単にオーダーできる尿道バルーンや動脈採血も、実際に自分で行うと失敗の連続でした。心肺停止の患者さんの元に駆けつけても、何も動けずただその流れについていくのが精一杯でした。自分が今まで学んできた病態生理や治療は前提の知識であり、医師として働くにはもっとたくさん学ぶ必要があると痛感しています。

医者になって3ヶ月、ようやく社会人として、医師としてスタートラインに立つことが出来たと思います。

## 研修医1年目 荒木滉平

初期研修医として幡多けんみん病院で働き始めてから早2ヶ月が過ぎました。初めのうちはオーダーの仕方さえわからず指導医の先生方や看護師さんへ迷惑をかけてばかりでしたが、丁寧に教えてくださったお陰でやっと病棟業務にも慣れてきたところです。

この2ヶ月間ですでにたくさんの手技や様々な患者様の診察をさせていただき、患者様の訴えは何なのか、診断するためにはどの検査が必要なのか、本当にこの診断で間違いないのか、処方はいかほどなのかなど指導医の先生にその都度確認はとっているもののとても緊張感を感じています。しかし、診察や処置に協力して下さる患者様のお陰でたくさん経験を積むことができます。

まだまだ至らぬところも多いですが、先生方などからたくさんのお話を吸収して幡多地域の医療に貢献できるよう尽力していきますので何卒よろしくお願いいたします。

## 研修医1年目 筒井大智

幡多けんみん病院での初期研修が始まって、2ヶ月が経ちました。ようやく少しずつカルテの使い方がわかってきて、仕事にも慣れてきました。先生方がとにかく優しく、右も左もわからない僕たちに一から丁寧に教えてくださるので、毎日とても楽しく研修を受けることができます。

研修が始まってからの2カ月に気づいたことの一つは、患者さんの目には、研修医も自分を診ている医師の一人として映っているということです。患者さんを必要以上に不安にさせないように、自分の知識や技術に自信をもって堂々とした態度で診療を行うことが重要だと感じました。そのためにも、日々の勉強、練習、そして先生方や看護師さん、コメディカルの方々が教えてくださる沢山のヒントを大事にしていきたいです。

これからの2年間の初期研修を通して沢山のことを学び、自分の自信もつけながら医師としてのスキルを高めていけるよう、そして地域の医療に少しでも多く貢献できるよう、日々精進していきたいです。

# 特集 新任 看護師の 紹介

今年度、看護部には新人看護師7名を含む計13名の看護師が入职しました。

## ◆新人看護師

看護部では、新人看護師教育プログラムに沿って新人看護師の成長を支援しています。

個々の成長度に合わせた指導・教育ができるよう、新人教育担当者会を中心にプリセプター、病棟、病院全体で新人看護師を育成しています。看護実践の場ではプリセプター（実施指導者）が、マンツーマンで専門的技術や患者対応などの指導と共にメンタルサポートを行っています。この制度により、新人看護師は安心して職場環境に慣れるとともに、プリセプター自身も基本的な知識・技術を新人と共に再学習し、人材育成の方法を学び成長する機会となっています。今年度入職した新卒看護師（会計年度任用職員3名を含む）6人、新人看護師1名の計7名に、①名前②出身学校③趣味・特技④看護観を伺いましたので紹介します。

## 既卒 新採用看護師

### ◆他施設から幡多けんみん病院に就職した2名



#### ICU 井上彩さん(左)

幡多けんみん病院に患者の家族としてお世話になった時のスタッフの方々の優しい対応がとても印象的でした。今回地元への帰省をきっかけに入職を希望しました。患者さんとご家族への丁寧な言葉かけ・態度を大切に、思いやりのある看護を提供していきたいです。

#### 西5 渡慶次由梨さん(右)

地域に密着した看護の提供を行っていること、アットホームな環境で看護の提供を行っていることに魅力を感じました。また、自己のスキルアップとして急性期病院で看護師としての知識、技術を身につけたく入職を希望しました。「あなたが担当でよかった」と言われるような看護を行ってきたいです。また、地域の特性を理解し入院から退院まで個別性のある看護を行ってきたいです。

### ◆会計年度任用職員から 正職員になった3名

左から  
手術室 森美由紀さん  
7階 松田一宏さん  
6階 小谷直美さん



①石崎雷さん(東5) ②高知県立幡多看護専門学校 ③休日に温泉やドライブに行くこと。夜散歩しながら夜空を見ることが好きです。④患者さんの思いに寄り添い、病院という療養環境でどうすれば安心して生活を送ることができるのか、患者さんのニーズに応じた看護を提供したい。

①矢野結愛さん(4階) ②高知県立幡多看護専門学校 ③ミラーレス一眼カメラと写ルンですで写真を撮ること ④患者さんはもちろん、家族に対しても愛のある看護を提供していきたい。

①竹松理菜さん(西5) ②四万十看護学院 ③休日はピアノを弾いたりソフトテニスをしています ④私の看護観は、患者さんのそばにいて気持ちに寄り添い、知識・技術が洗練された丁寧な看護を行うことです。患者さんと信頼関係を構築し、それぞれのニーズにあった看護を提供し患者さんの支えになりたいと思います。

①小橋幸美さん(西5) ②高知県立幡多看護専門学校卒業 ③趣味:DIYです。物作りが好きです。 ④患者様の思いに寄り添う心を忘れないこと。笑顔を忘れず、患者様の言葉に耳を傾けていきます。

①松澤知里さん(7階) ②徳島文理大学看護学科 ③音楽鑑賞(出勤するときや時間がある時は音楽を聴いています) ④様々な患者さんと関わりながら、知識や技術を向上させ、患者さんの希望に寄り添い笑顔で退院していただけるような看護師になりたいです。

①北野千依さん(6階) ②高知県立幡多看護専門学校 ③お菓子作り ④患者さんとの関わり一つ一つを大切に、患者に寄り添える看護師になりたい。身体的に表れている症状の観察だけでなくその人本人の社会的背景を考え、個別性を意識して対応していきたい。

①大家麻衣子さん(手術室) ②高知県立幡多看護専門学校 ③旅行、釣り ④患者さんや家族の思いに寄り添う看護を大切にしています。手術室では、麻酔下で会話が困難な状況ですが、術前に家族と会って手術室へ入室いただくなど、不安を少しでも軽減できるように関わっていくことを意識しています。

高齢の入院患者さんが増加しており、急性疾患を脱した後の機能低下を予防するためにも、口から食べる事ができるような関わりが重要であると言われています。そのためには、摂食嚥下訓練や口腔ケアが重要です。感染予防の観点からも細菌を口腔外に排出するためには、看護師だけの口腔ケアでは技術的に不足している部分がありました。そこで、令和3年1月より歯科衛生士2名を雇用し、根拠ある効果的な洗浄法、確実な除菌技術で、入院患者さんの口腔内清潔が保てるよう、組織横断的に活動してもらっています。



歯科衛生士 沖友里さん



歯科衛生士 上村香南子さん



**【看護エイドの紹介】**  
療養の場では、介護度の高い入院患者さんが年々増加しています。また、認知機能が低下し昼夜逆転している患者さんも多く、夕方から覚醒する患者さんへの対応や見守り、ナースコール対応などに追われる中、夜間の緊急入院が増えると看護師の業務が増大しています。  
このような現場の負担軽減と患者さんの安全面を確保するため、令和3年2月より夜間の看護補助者「看護エイド」を派遣していただくことになりました。エイドとは、助手、協力者、また助力、補佐と訳されています。

配置部署	16:30~23:00	21:00~7:00
4階	1名(月・水・金)16:00~0:00	0名
東5	1名	1名
西5	2名	1名
6階	1名	0名
7階	1名	0名

**準夜帯(16:30~23:00)**



- ◆看護師・患者様の少しでも役に立てたらとの思いで仕事をしています。
- ◆コール対応、患者の要望になるべく応えられるように、素早く仕事ができるようにしたい。看護師の要望にもしっかり応えたい。
- ◆自分のしていることが患者様、看護師さんのサポートに本当になっているか分かりませんが、サポートになれば有難いです。
- ◆初めてのことで戸惑いもありましたが、患者さんの感謝の言葉などもらったり、すごくやりがいがあります。
- ◆与えられた仕事を頑張ります。
- ◆医療関係の仕事に就くのは初めてだったので、最初はわからないことばかりで不安でしたが、助手さんや看護師さんに教えてもらいながら少しずつできることも増えてきました。今までの仕事と違って患者さんやそのご家族などと直接かかわりがあるので、難しいこともありますが、「ありがとう」と言ってくれたいことも多くやりがいを感じています。

**深夜帯(21:00~7:00)**



- ◆夜勤専従の勤務は初めてですが、週5頑張ります
- ◆いい看護師さん、スタッフに恵まれて有難いです。「やりがい」と思って、一日終わって看護師さんから「助かりました」の一言で疲れも吹っ飛びます。看護師さんたちの大変さも分かり頭が下がります。男の看護師さんはカッコイイです。頑張ります。

# 満点 レシピ *delicious & healthy*

栄養科  
管理栄養士  
片岡 航兵



● オクラは7月～8月に最盛期を迎える夏野菜です。オクラに含まれているネバネバは食物繊維です。便秘や下痢の予防、コレステロールを排出する作用があります。またカリウム、カルシウムを多く含んでいるため、骨粗鬆症予防やむくみにも効果があります。

## Ponk okra mi so roll

- 【2人分】  
豚バラスライス 4枚  
オクラ 4本  
味噌 10g  
塩コショウ 適量  
サラダ油 大さじ1/2杯



### 「豚肉のオクラ味噌巻き」

- ①オクラはへたを取って、縦に切れ目を入れる。切れ目の中に味噌を入れる。
- ②豚肉でオクラを巻いて、上から塩コショウを振る。
- ③熱したフライパンにサラダ油をしき、巻き目を下にして焼く。
- ④両面に焦げ目が付いたら、蓋をして弱火で5分焼く。



## 堀野 OTの HATA再発見

今回の紹介は…

### 『スノーピーク土佐清水 キャンプフィールド(爪白キャンプ場)』

爪白キャンプ場は、2019年4月27日「スノーピーク土佐清水キャンプフィールド」としてオープンしました。日本で初めての海中国定公園に指定された竜串海域公園内に位置し、豊かな自然に囲まれ、海を感じながらキャンプを楽しめるスノーピーク初の海に面したキャンプフィールドでとなっております。

敷地内には、広々としたキャンプサイトとモバイルハウスを12棟設置しております。キャンプフィールドには、土佐名物「カツオの薫焼き」スペースも完備されるなど、土地ならではの自然、文化に触れ、一年を通して温暖な海洋に包まれて過ごすことができます。

自然豊かなキャンプ場で大自然を感じてみてはいかがでしょうか。きっと新しい発見が見つかると思います。

行ってみよう!



「私たち歯科衛生士は、今年より新たな職種として当院に仲間入りすることになりました。仕事内容としては、入院中の患者さんの口の健康を守り、早期退院のお手伝いを行っています。」

具体的には、全身麻酔下の手術を行う方の口腔内チェックを行い、注意すべき状況があれば手術室スタッフと共有するようにしています。また、ICU(集中治療室)へ入室された方の口腔内のチェックと必要に応じて口腔ケアを行います。その他にも、入院中の方や外来に来られた方で、口に問題がある、気になることがある場合にお話を聞かせていただき、対策を一緒に考えていきます。

入院中で口腔ケアが必要な方に対しては、看護師さんと協働しながら行います。口の中は見えにくく状態を把握しにくい場所でもありますので、その方にあった適切な道具選択とケア方法の工夫を行っています。また、NST(栄養サポートチーム)として栄養状態の改善にも関わらせていただきます。

「自分でなかなか綺麗にできなかった所がスッキリした」「美味しくご飯が食べられるようになった」「呼吸が楽になった」「口のトラブルが減った」といった様なお声をいただきます。

また当院では、周術期(手術前後を含めた一連の期間)、化学療法や放射線療法を

行うといった際には、事前に歯科受診をして頂き、入院中に起こりうる口を起因とする合併症を防ぐための指導や治療を受けていただくための医科歯科連携を積極的に行っていきます。事前に歯科受診ができなかった方や、入院中に歯科医師による治療が必要であると判断された場合には、私たちが窓口となり地域の歯科へ繋ぐお手伝いも行っています。

痛みなどのトラブルを改善することはもちろんですが、全身治療において口腔管理が必要になる方や、ご自身は「こんなもんだらう」と合っていない義歯を長年使用されていた方、これから先の人生を考えたときには歯科治療が望ましい方々を適切な時期に歯科へ繋ぐこと、その案内をすることも私たちの役割なのではないかと思っています。

安全に美味しく口から食べるためにも、また感染症や合併症を引き起こさないためにも、口の管理はとても大切なことです。

しかし、お体の治療が大変な中で、口のことには二の次に我慢してきたといった声、仕方ないと思っていたとの声を度々お聞きします。そんな方のお悩みを少しでも解決できるように、入院中の改善はもちろん、退院された後の生活も視野に入れ、皆さんの人生に寄り添った関わり方ができるよう、お口の健康を守るスベ



文責 横山理恵

このように看護部では、多種多様な働き方、スペシャリストの職員とともに療養中の患者さんの回復過程に関わっています。今後も、患者さん・ご家族が安全で安心した入院生活を送ることができるよう、確かな知識・技術のもと「やさしい看護」を提供していきたいと思っております。



## 編集後記

3週間も早く始まった梅雨もついに明けて、青や緑が鮮やかで素敵な高知の夏がやってきました。水分補給や塩分補給など暑さ対策に気をつけながらこの夏を楽しみましょう。

今回のはた家では新しい仲間や取り組みについての特集をしています。

今年度は16人の新しい医師が赴任しました。現在けんみん病院は常勤医師数55人体制で診療を行っており、互いに協力してより良い医療を提供していきますのでよろしくお願いいたします。またけんみん病院は初期臨床研修指定医療機関でもあります。今年は5人の初期臨床研修医が研修を開始しました。現在合計9人の研修医が日々精進しています。高知の将来の医療を担う人材として地域の皆様に育てていただきながら、病院としても鍛えていく所存です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さらに7人の新採用看護師を含む合計13人の看護スタッフも入職し、若々しいメンバーと熟練のメンバーの連携を通じてより良い看護を提供できるよう邁進していきます。

今年度は新たな取り組みも始まっています。一つは看護エイドの導入です。医療職ではありませんが患者さんに寄り添い見守っていただき療養環境を改善していく取り組みです。

また療養に不可欠な領域として口腔ケアがあります。今年度けんみん病院では2人の歯科衛生士さんに入職していただきお口の環境を整えるために必要な体制づくりに取り組んでいます。

この他、暑さに負けないための献立、土佐清水市にある爪白キャンプ場(snow peak TOSASHIMIZU Campfield)についても触れています。盛り沢山の内容ですのでぜひお楽しみください。

最後になりますが新型コロナウイルス感染症について少し触れさせてください。現在都会を中心として5つ目の波が来ようとしています。今後デルタ株(通称インド株)が流行るとより感染する人が増え、重症化する若い人(お年寄りにはワクチンを接種しています)も増えることが予測されます。とはいえワクチン接種が進むと少し光が見えて来そうです。コロナ禍が長引き大変な中ではありますが、多くの方にワクチンが行き渡るまで、何とか大きな流行とならないよう日々の感染対策へのご協力をお願いいたします。

内科 川村 昌史